



平成 29 年 3 月期 第 1 四半期決算短信 [日本基準] (連結)

平成 28 年 8 月 5 日

上場会社名 日精樹脂工業株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 6293 URL <http://www.nisseijushi.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 依田 穂積
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 荻原 英俊 TEL 0268-82-3000
 四半期報告書提出予定日 平成 28 年 8 月 12 日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 29 年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29 年 3 月期第 1 四半期	8,173	△4.4	739	△7.2	144	△84.5	144	△80.9
28 年 3 月期第 1 四半期	8,546	2.1	796	10.6	932	39.8	758	25.5

(注) 包括利益 29 年 3 月期第 1 四半期 △280 百万円 (—) 28 年 3 月期第 1 四半期 879 百万円 (57.8%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29 年 3 月期第 1 四半期	7.24	7.16
28 年 3 月期第 1 四半期	37.99	37.63

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29 年 3 月期第 1 四半期	50,582	28,959	57.1
28 年 3 月期	49,310	29,440	59.5

(参考) 自己資本 29 年 3 月期第 1 四半期 28,861 百万円 28 年 3 月期 29,341 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28 年 3 月期	—	8.00	—	10.00	18.00
29 年 3 月期	—	—	—	—	—
29 年 3 月期 (予想)	—	8.00	—	10.00	18.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 29 年 3 月期の連結業績予想 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第 2 四半期 (累計)	16,000	△13.1	1,100	△28.7	600	△55.0	450	△56.3	22.53
通 期	35,000	△8.6	2,400	△11.4	1,900	△10.8	1,250	△49.4	57.58

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 — 社（社名）、 除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期1Q	22,272,000株	28年3月期	22,272,000株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	2,313,175株	28年3月期	2,313,175株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期1Q	19,958,825株	28年3月期1Q	19,958,825株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付書類3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界情勢は、アメリカにおきましては緩やかな景気回復が継続いたしました。中国をはじめとする新興国の経済は停滞感が見られました。また、わが国経済におきましては、企業収益、雇用環境等の緩やかな改善が見られたものの、英国のEU離脱に伴う欧州経済悪化の懸念等から円高が進行する等、先行きが不透明な状況であります。

当社グループの属する射出成形機業界におきましては、景気の不透明感を反映して国内および海外での需要が低調に推移いたしました。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、主力である射出成形機売上高が中国等のアジア地域での需要が低調だったこと等から売上高合計が81億7千3百万円（前年同四半期比4.4%減）となりました。製品別売上高につきましては、射出成形機売上高が62億7千万円（前年同四半期比4.1%減）、営業部品の売上高が11億2千4百万円（同11.2%減）、金型等の売上高が2億3千9百万円（同26.6%減）と減少しましたが、周辺機器の売上高は5億3千9百万円（同29.3%増）となりました。

利益面につきましては、射出成形機等の売上高が減少したこと等から、営業利益は7億3千9百万円（前年同四半期比7.2%減）となりました。また、四半期末にかけて円高が進行したことから営業外費用として為替差損6億2千5百万円を計上したこと等により経常利益は1億4千4百万円（前年同四半期比84.5%減）となり、これらの結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億4千4百万円（同80.9%減）となりました。

なお、セグメントの業績は次のとおりであります。

①日本

自動車関連を中心に需要が堅調に推移いたしました。円高が進行したことから需要が伸び悩み売上高（外部売上高）は41億4千5百万円（前年同四半期比8.2%減）、またセグメント利益は2億6千8百万円（同65.7%減）となりました。

②アメリカ地域

自動車関連および医療・容器等を中心に需要が堅調に推移したこと等から売上高（外部売上高）は24億8千5百万円（前年同四半期比12.8%増）、またセグメント利益は2億4千5百万円（同42.1%増）となりました。

③アジア地域

中国および東南アジア地域での射出成形機需要が低調だったこと等から売上高（外部売上高）は15億4千1百万円（前年同四半期比15.7%減）と減少しましたが、コストダウン等の効果からセグメント利益は1億7千万円（前年同四半期実績はセグメント利益1千2百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比べ12億7千2百万円増加し、505億8千2百万円となりました。主たる増加要因は、現金及び預金の増加41億5千万円および商品及び製品の増加2億2千7百万円であり、主たる減少要因は、受取手形及び売掛金の減少14億1千万円および未収入金の減少5億5千6百万円です。

負債合計は、前連結会計年度末と比べ17億5千2百万円増加し、216億2千3百万円となりました。主たる増加要因は、短期借入金の増加18億5千2百万円および支払手形及び買掛金の増加2億9千万円であり、主たる減少要因は未払法人税等の減少2億2千7百万円および長期借入金の減少2億6千5百万円です。

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ4億8千万円減少し、289億5千9百万円となりました。主たる減少要因は為替換算調整勘定の減少4億4千3百万円です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績につきましては、平成28年5月6日に公表した各予想値を修正しております。詳しくは、本日（平成28年8月5日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

当社グループといたしましては、グローバル市場への積極的展開による販売増強のため営業力を強化し、新たなビジネスモデルの創出による売上の増大を図ってまいります。また、最適地生産体制を構築し、生産技術力と品質保証体制を強化し、グローバル調達と内製化の推進によりコストダウンを図り、グローバルな生産体制を強化してまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

特定子会社につきましては、該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（平成28年度税制改正に係る減価償却法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務指針の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、これによる損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,727	12,877
受取手形及び売掛金	10,010	8,599
有価証券	1,190	—
商品及び製品	8,085	8,312
仕掛品	2,633	2,491
原材料及び貯蔵品	4,149	4,044
未収入金	2,223	1,666
その他	1,016	1,143
貸倒引当金	△462	△424
流動資産合計	37,572	38,712
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,022	2,933
機械装置及び運搬具(純額)	1,157	1,110
土地	4,464	4,448
その他	343	333
有形固定資産合計	8,988	8,826
無形固定資産	353	335
投資その他の資産		
投資有価証券	1,241	1,142
その他	1,167	1,579
貸倒引当金	△13	△13
投資その他の資産合計	2,395	2,708
固定資産合計	11,737	11,870
資産合計	49,310	50,582

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,567	10,857
短期借入金	—	1,852
1年内返済予定の長期借入金	1,063	1,063
未払法人税等	314	86
引当金	307	390
その他	1,606	1,703
流動負債合計	13,858	15,954
固定負債		
長期借入金	2,441	2,175
退職給付に係る負債	3,262	3,196
その他	307	296
固定負債合計	6,011	5,668
負債合計	19,870	21,623
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,362	5,362
資本剰余金	5,478	5,478
利益剰余金	19,201	19,145
自己株式	△1,109	△1,109
株主資本合計	28,932	28,877
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	288	220
為替換算調整勘定	248	△195
退職給付に係る調整累計額	△127	△41
その他の包括利益累計額合計	409	△15
新株予約権	98	98
純資産合計	29,440	28,959
負債純資産合計	49,310	50,582

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	8,546	8,173
売上原価	5,855	5,637
売上総利益	2,691	2,536
販売費及び一般管理費	1,894	1,797
営業利益	796	739
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	10	10
為替差益	78	—
その他	50	53
営業外収益合計	141	65
営業外費用		
支払利息	2	2
為替差損	—	625
その他	2	31
営業外費用合計	5	659
経常利益	932	144
税金等調整前四半期純利益	932	144
法人税等	174	0
四半期純利益	758	144
親会社株主に帰属する四半期純利益	758	144

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	758	144
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	88	△67
為替換算調整勘定	20	△443
退職給付に係る調整額	11	85
その他の包括利益合計	120	△425
四半期包括利益	879	△280
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	879	△280

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	アメリカ地域	アジア地域	
売上高				
外部顧客への売上高	4,514	2,202	1,829	8,546
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,575	2	956	4,534
計	8,090	2,205	2,785	13,081
セグメント利益	781	172	12	967

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	967
セグメント間取引消去	△170
四半期連結損益計算書の営業利益	796

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	アメリカ地域	アジア地域	
売上高				
外部顧客への売上高	4,145	2,485	1,541	8,173
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,518	12	1,612	5,144
計	7,664	2,498	3,154	13,317
セグメント利益	268	245	170	684

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	684
セグメント間取引消去	54
四半期連結損益計算書の営業利益	739

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。